

●下松● 山岡・藤井組が全国選手権へ 下松ジュニアソフトテニスクラブ

「自分に負けない」「県代表の自信で」

下松市の下松ジュニアソフトテニスクラブ(原田正剛会長、六十八人)の久保小六年、山岡瑞樹君(11)と花岡小六年、藤井一輝君(12)のペアが八月六日から岐阜市で開かれる第二十六回全日本小学生ソフトテニス選手権大会に県代表で出場することになり、九日、市役所で井川市長に挨拶した。

二人は三年で同クラブに入った時からのペアで、藤井君が前衛、山岡君が後衛。毎年三月に千葉県で開かれる全日本小

学生大会には昨年と今年、連続出場している。今回も五月二十三日に宇部市で開かれた県予選で優勝し、同クラブから二年連続で同選手権大会出場を決めた。水本隆行監督(48)は県チームの総監督も兼ねる。

市長は「人間の力に大きな差はなく、あるとすれば根性の差。全国大会でも相手にのまれず、気楽に日ごろの練習通りに

やれば立派な成績が出せます」と激励し、山岡君は「自分に負けず、悔いのないように頑張ります」と藤井君も「県代表である自信を持って元気に対戦します」と決意を述べた。

目標は二人とも「まずベスト32に入り、少しでも上を目指したい」と話し、原田会長(61)や水本監督は「一本ミスをしなくても二本取り返すぐらいの気持ちでのびのびとプレーしてほしい」と期待していた。



左から水本監督、藤井君、井川市長、山岡君、原田会長

日刊新周南